

令和6年度 第2回 豊田市稲武地域会議全体会 会議録

- 日 時 令和6年5月16日（木）午後7時00分～7時56分
- 場 所 稲武支所 団体会議室
- 出席者 委 員：安藤直人、今泉喜規、石橋佳子、櫻井麻沙子、佐々木祐次、
高崎太一郎、瀧澤育夫、土本隆雄、土屋桂子、中拓二、深見友和、
三江元博、宮島明菜
(欠席者)：海野浩、西尾昌直
市議会議員：松原議員
事務局：梅村支所長、岡部副支所長、柄澤副主幹、鈴木担当長、原田主査

■次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 松原市議あいさつ
- 4 協議事項
(1) 提言検討について
- 5 報告事項
(1) 令和6年度わくわく事業の2次募集について
- 6 その他

■議事（要約）

4 協議事項

(1) 提言検討について

提言のテーマについて協議が行われ、今後「子ども」に関することを協議していくことを決定。

各委員からの発言は以下のとおり。

- ・夏休みなどの子どもの居場所に困っている。仕事の際の子どもの預け先がない。
- ・働き手が高齢化し、働く人が少ない。働き手を見つけるためにも定住促進が必要。定住促進をすれば子どもも増える。
- ・定住を進めるには、移住者が入りたいときにすぐに入れる空き家等の物件が必要だが、物件の確保等が不十分。
- ・従業員の高齢化で現在主力の人たちが退職した時、会社としてやっていけるのかという状態になりそう。働き手の移住を進めるにあたっても、移住者が踏み込みやすい体制が必要。
- ・地域おこし協力隊の制度を使って、自分で起業するような若い人を稲武に呼び込んではどうか。
- ・観光客の子ども向けに、何度も稲武に来たくなるような稲武らしい写真スポットを作ってはどうか。また、職場でも働く人が少ない。土日に働くには子どもを預ける場所が無くて困っている。
- ・今、稲武に住んでいる若い世代の方が困っているのが子どもの問題。昨年度の諮

問答申の議論でも子どもの事について意見が多く出ていた。稲武が住みやすい地域であることをアピールすれば、定住促進にもつながり、働き手も増えると思う。

5 報告事項

(1) 令和6年度わくわく事業の2次募集について

- ・事務局より令和6年度わくわく事業の2次募集について報告。
- ・櫻井委員よりわくわく事業団体「稲武プレーパーク」の進捗状況について報告。

6 その他

- ・今泉委員、高崎委員、三江会長より、ふれあいウォーキング開催及びイベントでの各団体の活動予定について情報提供。

次回開催：令和6年6月20日（木）午後7時 稲武支所 団体会議室